



株式会社MS-Japan
(東証第一部：6539)

2022年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

PL概況

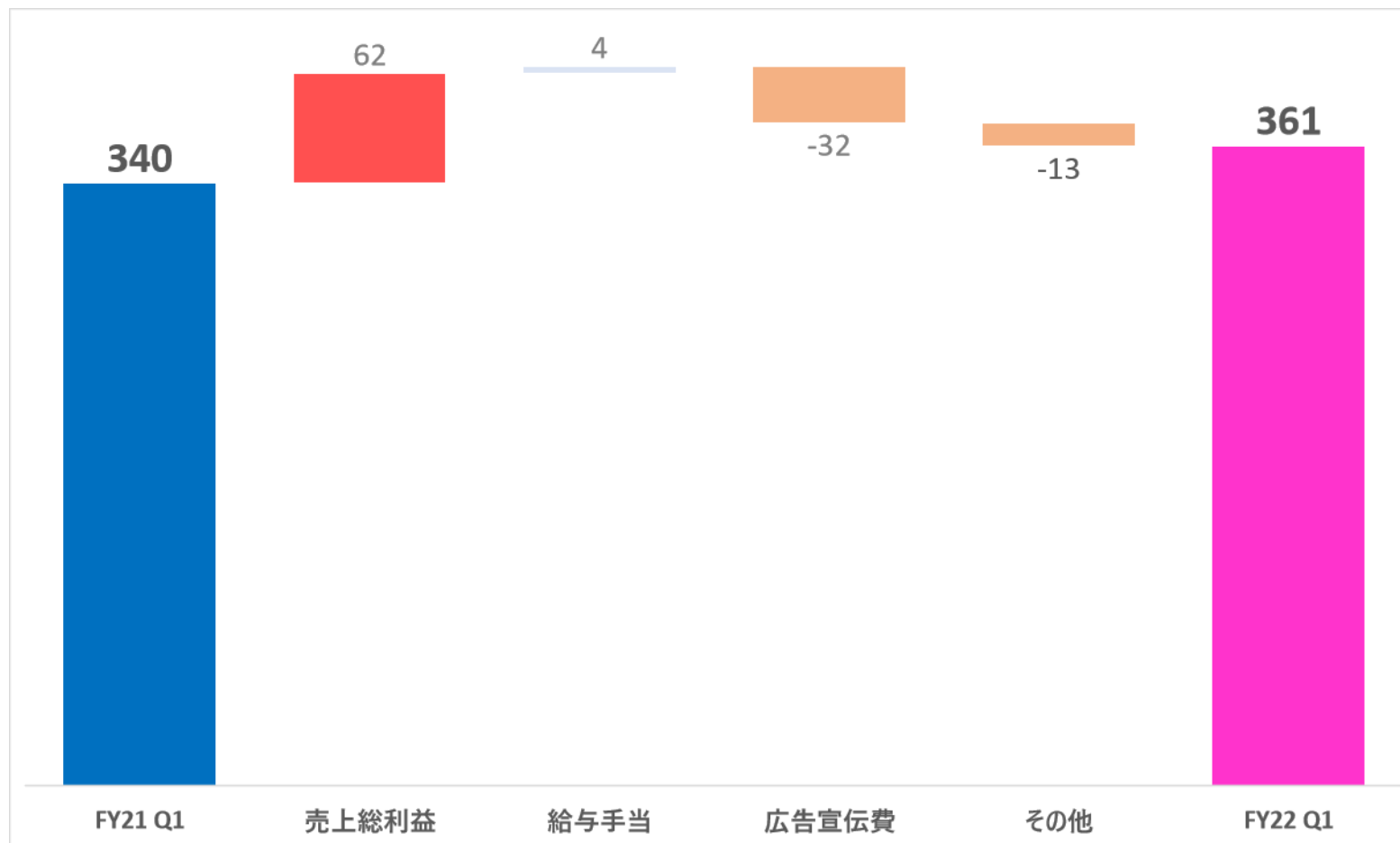
FY22 Q1については、売上高については前期比+7.4%、計画比+3.3%で着地。営業利益については前期比+6.1%、計画比+17.1%。以下各段階利益についても前期比及び計画比いずれにおいても上振れ着地し、順調な滑り出し。
(単位：百万円)

	FY21 Q1		FY22 Q1		前期比	FY22 Q1 計画	計画比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率			
売上高	840	-	902	-	107.4%	873	103.3%
営業利益	340	40.5%	361	40.0%	106.1%	308	117.1%
経常利益	345	41.1%	367	40.8%	106.6%	291	126.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	237	28.2%	251	27.9%	106.1%	194	129.7%

※2021年3月期第4四半期におけるCVCファンド設立に伴い2021年3月期末より連結決算へ移行しております。比較のための参考情報として、2021年3月期前第1四半期累計期間は単体実績を表示しております。

前年同期比較で人材紹介事業及びメディア事業双方の売上高が上昇した一方で広告宣伝費については主にManegyにおけるマーケティングコストが20百万円増加。

(単位：百万円)



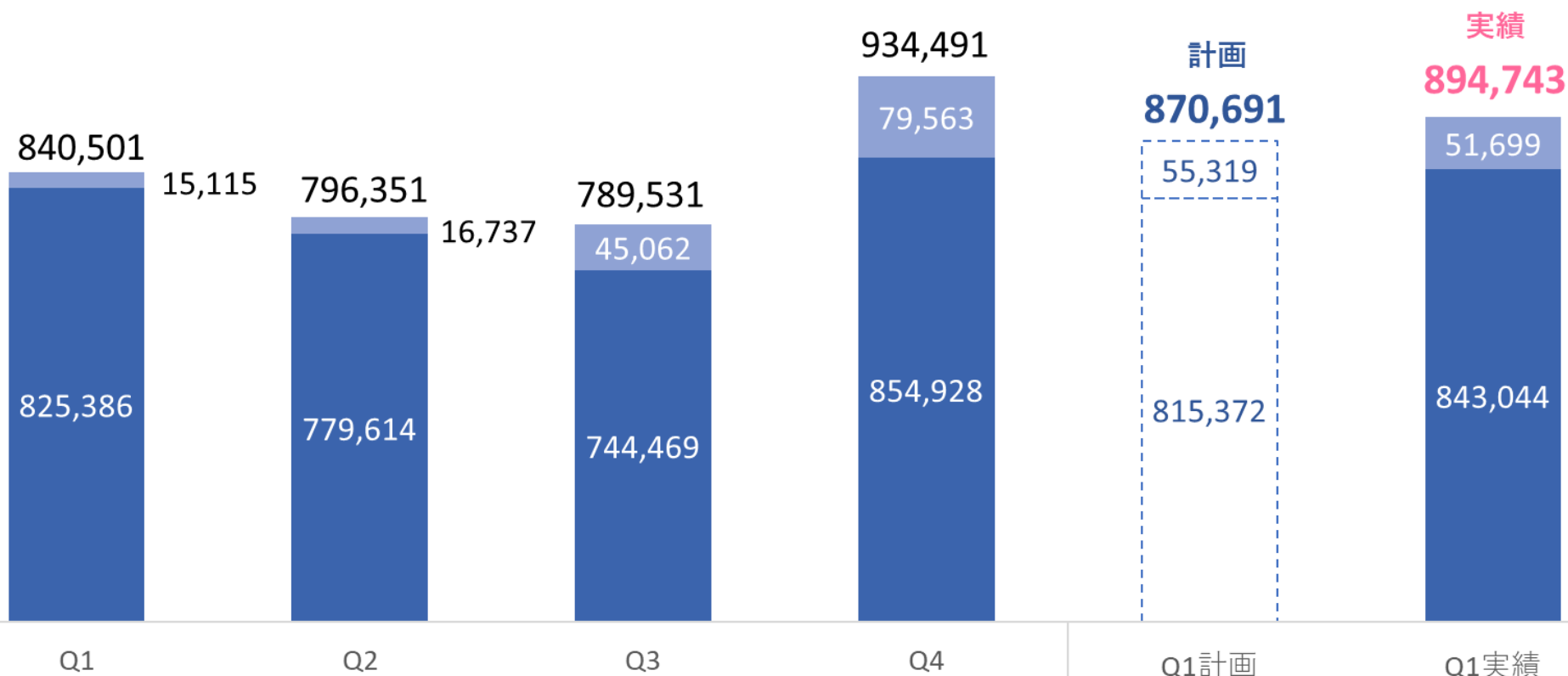
四半期別売上高の推移

人材紹介事業については入社が集中したFY21Q4売上高水準と同水準まで回復し、Q1計画を上振れ着地。期中掛けてコロナ前水準までの回復を目指していく。

四半期別売上高推移

(単位：千円)

■ 人材紹介 ■ メディア(Manegy)



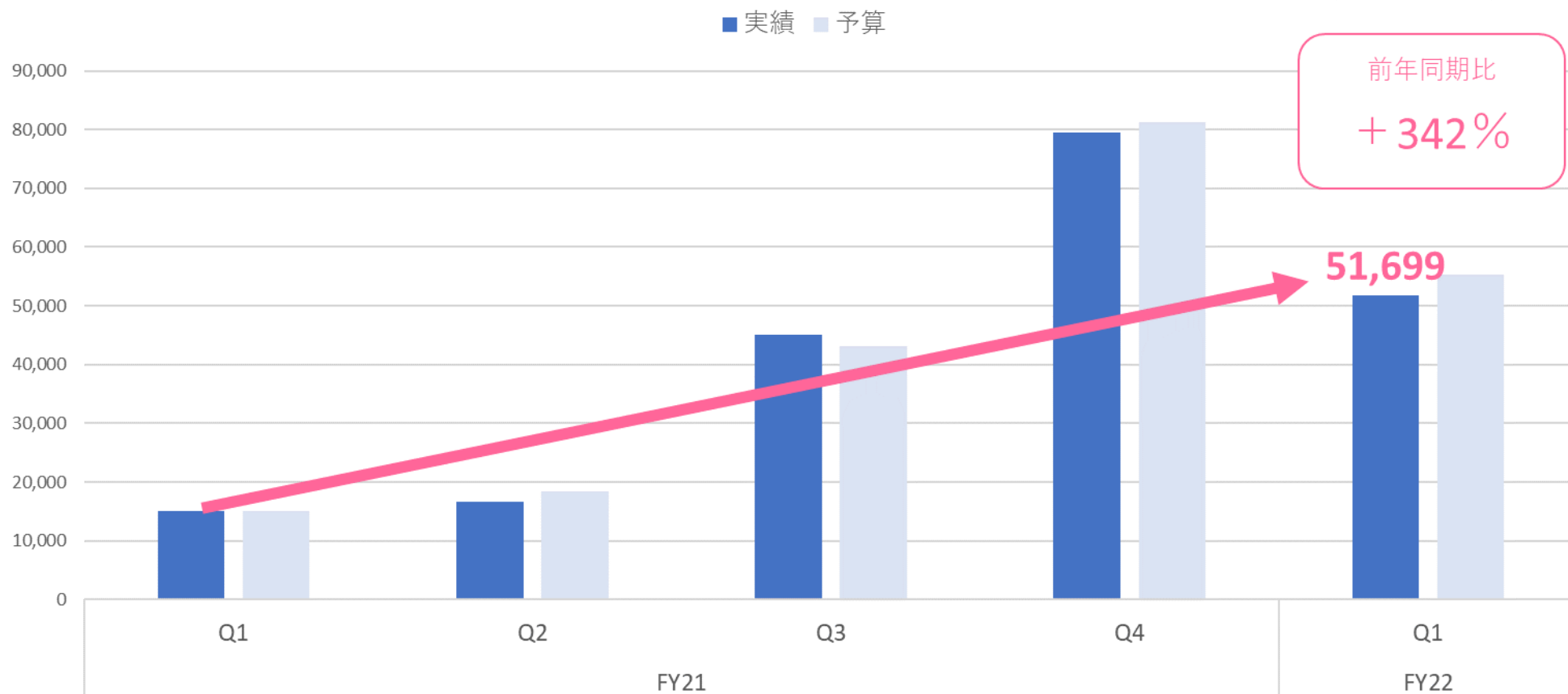
※その他売上高については上記グラフより除いております。

四半期別メディア事業（Manegy）売上高推移

Manegy toBの開始に伴い前年同期比342%の成長を実現。Manegy内のコンテンツの拡充に伴い、売上高実績も概ね計画通りに推移。今後も更なるコンテンツの拡充を推進していく。

メディア事業（Manegy）四半期別売上高推移

（単位：千円）





「Manegy toB動画」のリリース

Manegy toB内に、これまでの資料請求モデルに加え、新たに動画コンテンツのリード獲得サービスがスタート！



- ・ 経理財務
- ・ 人事労務
- ・ 総務法務

といった職種別にトレンドや製品情報を動画で視聴することが可能に。

ユーザーにとって「記事や資料を読む」ことから「動画を見る」という簡易なコンバージョン地点をすることで、ユーザーの拡大と売上高向上を狙う。

依然不透明な経済環境が続く中、**高い自己資本比率**で引き続き安全性を維持。

(単位：百万円)

	FY21	FY22 Q1	期末増減額
流動資産	7,648	7,387	△261
固定資産	2,509	2,192	△317
総資産	10,158	9,580	△578
負債	778	627	△150
純資産	9,380	8,952	△427
自己資本比率	92.1%	93.2%	1.1



ご注意事項及びご質問について

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だ知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

本決算説明についてのご質問についてはIR担当窓口 (ir@jmsc.co.jp) までメールにてお問合せ頂きますよう、よろしくお願い致します。